

人件費の話しを聞くと、運営から経営という変化に小規模作業所は、身動きが取り難い実態がありました。

最後に、松阪市手をつなぐ育成会 理事長・瀬田正子さんから「ほえみ」の説明と事業所の問題提起について、利用者の出欠状況で運営が不安定であることを切々と話されていきました。生活介護における生産活動は工賃のことも重要ではあるが、利用者本人が仕事を達成した喜びを感じ、日課として一日の流れを作ることも大切であると述べられました。この研修を通じて、他の事業所報告を聞くことにより、自分の事業所がどうなのか？利用者として、個人として、事業所として各立場から問題提起をより良いもの出来ればと思いました。



バレンタインコンサート が開催されました

大阪市の地域活動育成事業の助成金を一部受けて二月十四日にバレンタインコンサートを開催しました。今年で三回目となるバレンタインコンサートは一昨年、昨年の参加者二八〇名を越える三六〇名余りの参加をいただき大盛況でした。

会場もドーンセンターを利用し大きな舞台、ゆつたりとした会場でバレンタインデーの午後のひととき演奏に耳を傾け、またパフォーマンスに盛り上がり思いっきり楽しんでいただけただけでしよう。十一時過ぎから十二時の開場にさきがけてそろそろ皆さんが集まってきました。バレンタインの気分を味わってからおうと今年も受付でチョコレートをお渡ししました。

そのころ舞台では、開演に

むけりハーサルの大詰めの中でした・・・

今年の出演は、まず大和川高校のOBで結成された吹奏楽団『大和スピリッツ』さん総勢二十名。当日は急ぎよ現役高校生の皆さんも参加されました。大和スピリッツさんは日頃から演奏の場を広げようと保育園や老人ホーム等で積極的に活動をされているそうです。

演奏後、楽屋にうかがった時「客席のみんなからの反応がうれしかった」「みんなの笑顔に元気をもらった」「これからも聞いてくれるみんなをもっと元気にできるような演奏をしていきたいと思った」「ありがとうございました」等と団員の皆さんから逆にお礼の言葉をいただきました。それって『大和スピリッツ』名前の通り純粋に演奏に打ち込まれている団員の皆さんのスピリッツなのかな・・・&

純粋で素直な客席のみなさんのハートが伝わったのかなと舞台裏でのちよとした感動でした。

それから元気よくがんばって素敵なパフォーマンスをみせてくれた東成育成園のメンバーさん達。三曲をそれぞれ違ったパフォーマンスで楽しませてくれました。

リハーサルの通しでのそれぞれの立ち位置の確認や出待ちの瞬間みんなの真剣な顔。とても集中していて輝いているように見えました。かなりの練習を重ねて来られたのでしようね。努力の成果を存分に発揮されたことでしょう。

会場のみんなの応援と自分もやってみたくなくなてうらやましい眼差しもあつたかも。終わってからの楽屋では一様にほっとした笑顔。おそろいのユニフォームで誇らしげに記念撮影。みんなでひとつになつてやり遂げた達成感で自信に満ちた顔であふれてい



ましたね。本当にチームのみなさんお疲れ様でした。さらなる進化を期待していますね。最後におなじみのNTT西

日本大阪吹奏楽団さんはトレードマークのオレンジ色のユニフォームで総勢四十三名の演奏。いつもながらのすばらしい演奏と客席のみんなを引き込む楽しい演出が見事です。演奏曲は誰でも知っている楽しい曲目をアンコールも含めて十曲。それから今回は趣向をこらした『指揮者コーナー』が人気でした。

客席のみんなの中から希望者に舞台上がってもらい簡単なアドバイスの後、一人